

第64回日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越支部 運営委員会議事録

日時：2024年10月12日（土）13：20～14：00

会場：大手町サンケイプラザ 3階（303+4）

出席者：173名

演者：4名

欠席者：62名

議題：1) 第64回地方会会長挨拶

会長の緒方信彦先生（上尾中央総合病院）より、演題数、現時点での参加者などの報告があった。

2) 新運営委員ならびに現運営委員の異動報告

【承認】

- ①松野 俊介 心臓血管研究所附属病院循環器内科
- ②田中 茂博 公立昭和病院循環器内科
- ③穴戸 晃基 湘南鎌倉総合病院心臓センター循環器科
- ④高木 友誠 総合高津中央病院心臓血管センター
- ⑤飛田 一樹 湘南鎌倉総合病院循環器科
- ⑥山口 徹雄 虎の門病院循環器センター内科
- ⑦宮地 秀樹 日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科
- ⑧鶴巻 良允 埼玉メディカルセンター循環器内科
- ⑨黒木 識敬 東京都立墨東病院循環器科
- ⑩吉田 律 東京慈恵会医科大学附属第三病院循環器内科
- ⑪小宮山 英徳 埼玉医科大学総合医療センター心臓内科
- ⑫増田 新一郎 医療法人社団愛友会上尾中央総合病院循環器内科
- ⑬和泉 直子 千葉西総合病院循環器内科
- ⑭李 哲民 武蔵野赤十字病院循環器内科

前回欠席された松野俊介先生、田中茂博先生を含め、新運営委員の出席が確認されたので就任が正式に承認された。

今回出席ができない高見澤格先生、吉岡賢二先生、土屋寛子先生は次回に正式の承認とすることになった。

秋間崇先生、安倍大輔先生、大西隆行先生、鈴木和仁先生、高木厚先生は本人からの連絡で諸事情により辞任となった。

本部と同様運営委員に65歳定年を求めることについて前回運営委員会で承認されたので、今回の運営委員会で該当の10名の先生方は辞任となる。

運営委員会連続欠席者はこの後行われる運営委員会にて出席を確認する。事前に、塚田俊一先生は次回出席予定、杉浦広隆先生、山内正博については連絡がとれなかった。本日の出席が確認できなければご辞退いただく。（会則第7条（4）-③並びに④に基づく）

直近3年間に発表の無い施設については、リストにあるところに再度声を掛けて発表を促すこととする。

3) 第65回地方会（2025/5/10）について

【報告】

会長の武安法之先生（茨城県立中央病院）より上記日程で開催すべく準備を進めている旨の報告がなされた。

4) 第66回地方会（2025/10/10・11）について

【報告】

会長の伊藤良明先生（済生会横浜市東部病院）より上記日程で開催すべく準備を進めている旨の報告がなされた。

5) 第67回地方会（2026/5/9）

【報告】

会長の藤本善英先生（国際医療福祉大学成田病院）より、上記日程で開催すべく準備を進めている旨の報告がなされた。

6) 第 68 回地方会 (2026 秋) について **【報告】**
会長の新家俊郎先生 (昭和大) によりご報告がなされた。第 69 回地方会以降の会長は次回決定予定。

7) 第 63 回地方会 (2024/5/11) 会計等報告 **【報告】**
第 63 回地方会について会長の佐藤明先生 (山梨大学医学部附属病院) より、会計の報告がなされた。

8) 運営委員推薦について **【承認】**

①木村 光	JA 長野厚生連 佐久総合病院佐久医療センター循環器内科
②中尾 優	済生会川口総合病院循環器内科
③磯貝 俊明	東京都立多摩総合医療センター循環器内科
④谷脇 正哲	三井記念病院循環器内科
⑤飯塚 大介	医療法人徳洲会 千葉西総合病院循環器内科
⑥上原 裕規	筑波記念病院循環器内科
⑦森山 優一	東京都立大久保病院循環器内科
⑧中澤 峻	JA 長野厚生連 北信総合病院循環器内科
⑨生富 公康	千葉メディカルセンター循環器内科
⑩木下 浩司	東京慈恵会医科大学附属柏病院循環器内科
⑪武井 眞	さいたま市立病院循環器内科
⑫酒井 俊介	水戸協同病院循環器内科

以上の先生方が推薦され、諮ったところ全員承認された。次回開催の運営委員会へ出席いただいて正式に就任となる。

9) メディカルスタッフ部会報告 **【報告】**
今年度開催された第 11 回メディカルスタッフのための基礎教育セミナー、第 21 回神奈川カテ室メディカルスタッフ研究会について支部長より報告がなされた。

11) 本部からの報告 **【報告】**

- 6/14 厚生労働省通達メディカルスタッフのタスクシフトタスクシェアで臨床工学技士、臨床検査技師が清潔野に入ることは問題ないという通達文を出した。看護師、放射線技師は先に認められていたが、今回公式に認められた。厚労科研で、TSTS に関する研究をする活動を高橋先生が行っている。
- 今まで JCIC が施設基準取り仕切っていた。成人に関しては JCIC に申し入れをして、前進した。来春施設基準、術者基準、トレーニングを CVIT 中心に行う。IAASD に関しては時間がかかりそうであるが、CVIT 中心でやってはいけるが待っていて欲しい。
- 専門医制度について、テキストを改訂した。ご協力いただき、感謝している。専門医を受けるときの業績については、今までスポンサーセッション取り上げていたが、業績としてカウントするのは適切でないとして、認定しないことになった。その旨施設にも広めてもらいたい。
- HP をリニューアルした。使いやすくなったので、アクセスして欲しい。
- ライブに関する細則の改訂のメールを配信した。匿名の告発文があったためである。内容はライブの規定に抵触するもので、臨時理事会で決議した。これを受けて、適正使用指針を従ったライブ動画を作るようにしてもらいたい。認定ライブとしては適正使用指針を守って欲しい。
- IVL に関してはデバルキングを併用したい。BCB で終わらせたいということもあるかと思うけど当初は認められていない。行政との合意ができていないので、段階的に解除される予定ではある。今しばらく待っていてもらいたい。安全だというデータをもって承認される見込みがないため、ステント内の IVL はメーカーが承認とるつもりはないようである。どうしても患者の問題で使うとき、適用外使用の許可をとってから処置をお願いします。
- CVIT の件ではないが、安定冠動脈疾患ガイドラインが改訂となった。2027 年 3 月に刊行予定である。日頃不自由で承認されていない薬剤が適用外になってしまうものをガイドラインに盛り込む予定である。適用外使用がガイドラインで認められたら公式的な使用になるようにしたい。適用外使用で困っているものがあれば伝えていただ

きたい。

1 1) 今後の事務局について

【承認】

事務局の事務を委託している春恒社が今年度で CVIT 関東甲信越支部の受託業務辞退の申し出があったため、特定非営利活動法人 リアルワールドデータを構築し明日の医療を支援する会リアルワールドデータ コンベンション事業部に事務局を移行することが決定した。この後の運営委員会に承認を諮ることになった。

以上